

全曹青、発信せよ。

「平成21年7月 中国・九州北部豪雨」 レポート in 災害復興支援部

写真上：防府市右田地区での山口曹青の活動の様子



写真左：
被災直後に防府市
小野地区を襲った
濁流

お見舞い
○九年七月中国九州豪雨災害、及び台風九号の接近に伴う大雨による各地の災害。また、八月十一日午前五時七分には駿河湾を震源とする地震災害について、罹災し亡くなられた皆様に対しご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご遺族様と被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
全国曹洞宗青年会

今夏は、お盆を中心に各地で自然災害が頻発しました。今回は、曹青会が組織的に災害復興ボランティアに関わった山口県の被災地の様子と、山口県曹洞宗青年会からの活動報告をお届けするとともに、今期より体制化される全曹青の災害復興支援部の総括レポートを掲載します。

active

アクティブ・レポート

from 山口曹青

7月21日の豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。またこの災害復興に様々な形でご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。

過去に台風による災害などはありませんでしたが、豪雨によるこのような形で被害は山口県では珍しいものです。被災された方々も「地域に腰を落ち着けて以来30〜40年になるが、こんなことは初めて」と眉間に皺を寄せられます。

防府市・佐波川流域を中心に起こった土砂崩れ、山口市を中心とした広範囲な断水をはじめ、県内各地域で床上浸水・床下浸水などが広範囲にわたりました。

防府市と山口市に、社会福祉協議会を中心にボランティアセ

写真下：
山口曹青副会長・池田亮一師ご自坊である常安寺さま(周南市)の参道が崩壊。お寺に直接被害はありませんでした。



ンターが開設されましたが、私たちは現地で収集した被災状況などから、「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」を通じて一週間程度、現地のお手伝いをさせて頂きました。

発生直後ということもあり、主に民家に入り、床下・床上・庭の泥の撤去・濡れた家財道具の廃棄などを手伝えました。1軒の家に10〜20名程度のボランティアが入り、活動を行います。衛生上の問題から、長袖・長ズボン・長靴・ゴム手袋などを身につけているので、中には熱中症になる人もいました。その他にも、ボランティアやセンターの運営の補助として、医療班を送迎する車の運転をしたり、届いた資材の整理をする活動等も行いました。

被災された方々は、近隣の避